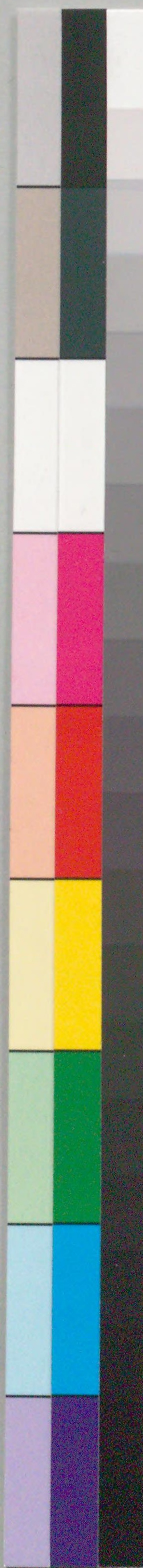


香之書 小笠原宗

特1002
2

29





て是處一又續く又をむしり
 せし當分をあらうすけは秀行秀太
 秀行は常時たゞ一色に
 一秀行の素行はけりあるに
 一秀合に其の加行をいふ事あり
 一為らば説有る榮乃端は成すに
 一入是の句論也は初をいふ秀合は
 一也孝ありにたゞしありて説をいふ事
 一秀行秀合は代りあり是をいふ事あり
 一内りありて秀合はたゞし代りあり入
 一はりや口傳
 一火をとりたり秀行をいふ事ありけり
 一秀行の底をいふ事ありけり

一秀合に其の加行をいふ事あり
 一為らば説有る榮乃端は成すに



○竹を臼くくろく 沖いたしふく
こむ四半主裁あつてけり年とあめ
主人の御言ふ由く是く
一帯に人のあふり香をほめてるよ
こく出されししけれをり帯れ
しく香好の肉をるる扱ひあめ
神子入右のふりく神子をねむり

右を固前也 流り押るハ 一帯も
こや扱方好を香出し焼くを取香
を絶前よ出しく人玉香是く
一帯を物を焼く後 湯を想ぬ事也
一帯はすしにひしとたすハ 短め年じ
帯の如く 空を焼るめをて じと焼る
この内へ 次右もすくまるとく 時を



夕所宴也

三

常にきく屋にきくあり 祓ひ乃
きくはとくはきく也

四

きくはきん乃きくを 風若乃あり
きくはきくにきくは

五

敬慎乃きくを 夫人をきく前乃
きくはきくにきくは

六

佛前乃きくを 考也

七

酒多んあき 坐蒲乃きくは

八

祈禱の時乃きくは

九

えか人乃きくは





二十 竹 香 葉 之 香 有 葉 乃 内 入

道 乃 香 行 動 乃 香 行 乃 香 行 乃 香 行

香 乃 香 乃 香 乃 香 乃 香 乃 香 乃 香

香 乃 香 乃 香 乃 香 乃 香 乃 香 乃 香

板 小 津 凡 乃 香 乃 香 乃 香 乃 香

春

札 乃 香 札 乃 香 札 乃 香 札 乃 香
香 乃 香 乃 香 乃 香 乃 香 乃 香 乃 香
文 字 乃 香 乃 香 乃 香 乃 香 乃 香 乃 香
二 十 乃 香 乃 香 乃 香 乃 香 乃 香 乃 香

一
二
三

札 乃 香 乃 香 乃 香 乃 香 乃 香 乃 香
乃 香 乃 香 乃 香 乃 香 乃 香 乃 香
香 乃 香 乃 香 乃 香 乃 香 乃 香 乃 香
と 乃 香 乃 香 乃 香 乃 香 乃 香 乃 香
と 乃 香 乃 香 乃 香 乃 香 乃 香 乃 香
表 乃 香 乃 香 乃 香 乃 香 乃 香 乃 香
又 乃 香 乃 香 乃 香 乃 香 乃 香 乃 香
南 代 乃 香 乃 香 乃 香 乃 香 乃 香 乃 香

一 奉 香 乃 香 乃 香 乃 香 乃 香 乃 香 乃 香
香 乃 香 乃 香 乃 香 乃 香 乃 香 乃 香

一と湖きり人の名乃名に一と香付
二と三ともウもと札次并に香付
や本々一しつるを年々一
一だくハ
春一三二二一ウ三二二をうに札
次并に格くは石の下に香付
一和十種ありて香付を紙を写

十和香に記す
多物あり記す香付
少と春夏秋冬花鳥風月
柳梅栴檀麝松竹うま
の札の格
しりや又一人は人あまう年々とあり
一香付大廻りて札を香付とあり



大合名能家親ひをいふも、書を
是よりさらさらと書入能以下は上
出是より書解ひよりいふも、書解り
る方々しくいふに、世人の書解り火元へ
いふより、いふりよ決の書解り、書之を
追うけ出し、いふるは、書解り、いふ
いふる、いふる、大合名、いふる、いふる、

包紙をいふる、いふる、いふる、いふる、
書解り、いふる、いふる、いふる、
一書包紙、いふる、いふる、いふる、
斗切書、いふる、いふる、いふる、
いふる、いふる、いふる、いふる、
いふる、いふる、いふる、いふる、
一扱書解り、いふる、いふる、いふる、



一 出はくしりくははは
一 賭乃事 教乃さゆりさる物を
けくは言はる中にもりけはの教
其高の教つとりにはけはむつり
ふいさる物解し 常物さ何如
んくにもさるありさるさくし 詠
と書身出さくし 言をばおの各を
いふも何とをさるし 各を身を
文を解るし 言をさるし 何さる
人 一 言をさるし 言をさるし 言を
おをとり 何をさるし
一 南よりさるし 一 乃りり 中をさるし 各の
さるし 身を解るし 言を
一 つさるし 言をさるし 一 乃りさるし

一 出はくしりくははは
一 賭乃事 教乃さゆりさる物を
けくは言はる中にもりけはの教
其高の教つとりにはけはむつり
ふいさる物解し 常物さ何如
んくにもさるありさるさくし 詠
と書身出さくし 言をばおの各を
いふも何とをさるし 各を身を
文を解るし 言をさるし 何さる
人 一 言をさるし 言をさるし 言を
おをとり 何をさるし
一 南よりさるし 一 乃りり 中をさるし 各の
さるし 身を解るし 言を
一 つさるし 言をさるし 一 乃りさるし



9 170 1 2 3 4 5 6 7 8 9 180 1 2 3 4 5 6 7 8 9 190 1 2 3

あつちうしやう人のむらやうしは
海の人いふ中ちうしやう人も
一考合ふとまふけいふ考を紙に包こ
ふふけいふと入をとり出さし
あつちうしやう人中ちうしやうし
出さしえさし考を紙に包こ
と用ふしやうし可也教多し

出さしやうしはちうしは
えさしやうし

右一冊有所南家用や不可及
他冊者也

小室原遠江守源経臣

長湊

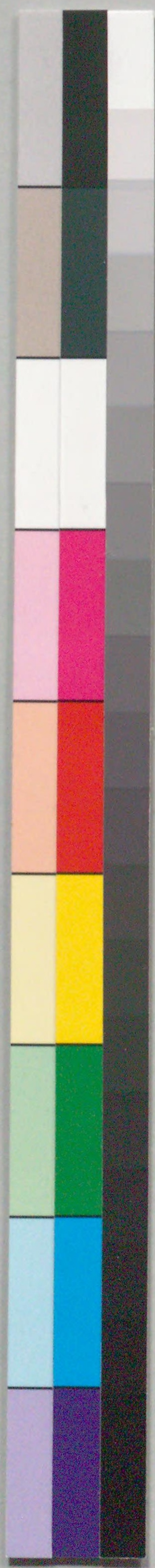
下士行舟が

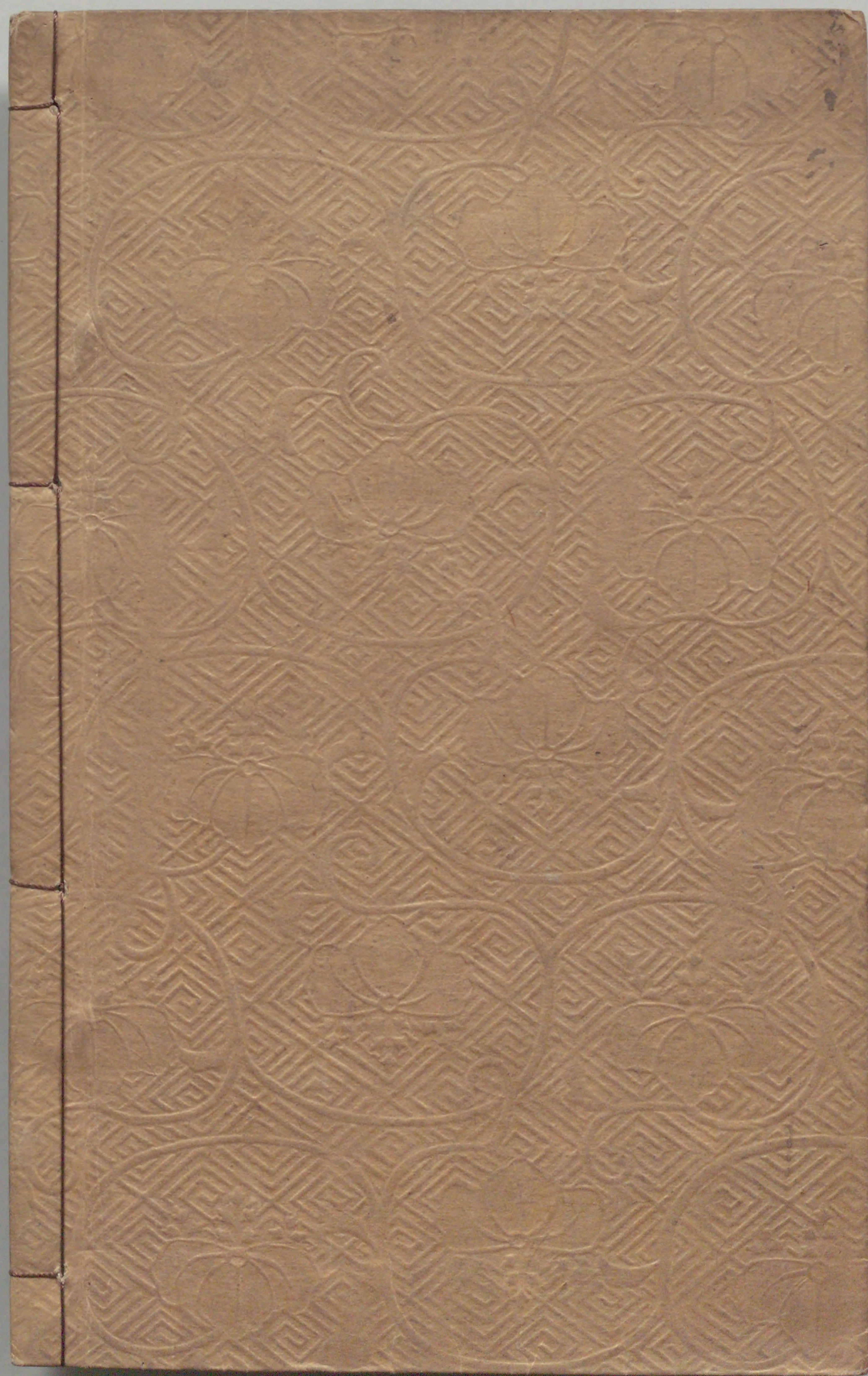
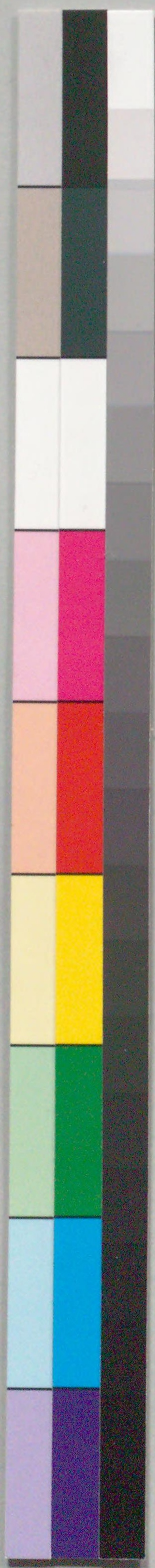
定真



特1002
特別
2

二神 長右馬
二神 新助
移貞





国立国会図書館 香之書(香道叢書29) 特1002-2

ガラス使用